



10/23

長年にわたって地域社会の発展に尽くした方を顕彰

前野 正代さん（美田尻）が
「山陰中央新報社地域開発賞」を受賞されました！

10月23日（火）、松江市にて、長年にわたって地域社会の発展に尽くした方を顕彰する「山陰中央新報社地域開発賞」の表彰式が行われ、美田尻の前野正代さんが社会賞を受賞されました。

前野さんは、長年にわたって警察と地域との橋渡し役を担い、「セーフティーさわやか活動西ノ島の会」の副会長を務められたほか、「にしのみまあんしんまもり隊」のメンバーとして、ごもたちへの声掛けや、高齢者の防犯などにもご尽力されていて、安全で住みやすい島づくりに貢献されています。また、少年補導委員として非行防止にも取り組まれています。

この度、このような長年にわたる活動へのご功労がたたえられ、受賞されることとなりました。



10/28

地元水産物を活かした

「ギョギョギョ魚フェスタ」を開催しました！

10月28日（日）、西ノ島町観光交流センターにて「ギョギョギョ魚フェスタ」を開催しました。地元の水産物へ関心をもっていたごとうと、栽培漁業について学べるパネルや魚水槽の展示を実施し、地元で獲れた鮮魚販売や海鮮丼の販売などを行いました。

イベント当日は、強風の影響もあり鮮魚の水揚げが少なめでしたが、姉妹町である鳥取県江府町の農産物販売や、カニ汁のふるまい、海鮮丼販売など多くの出店体験コーナーのおかげで、終始大勢の人で賑わいました。

前日の27日（土）には、JF共済イメージキャラクターの瀬口侑希さん（せぐち ゆうき）による歌謡コンサートが開催され、大勢のお客様がその歌声に酔いしれていました。また、コンサート終了後にはCD販売会・サイン会が開かれ、大いに盛り上がりました。

イベント開催にあたっては、水産関係機関をはじめ、町内事業者の皆様、地域住民の皆様のご理解とご協力をいただき、食欲の秋にふさわしいイベントとなりました。イベントにご協力いただきました関係者の皆様へ深く御礼を申し上げます。



▲海鮮丼販売



▲江府町特産品販売



▲工作体験コーナー



10/27

姉妹町の江府町との交流

江府町西ノ島町経済交流協議会総会を開催しました！

10月27日（土）、江府町西ノ島町経済交流協議会総会が西ノ島町で開催されました。

総会では昨年度決算及び事業報告、今年度予算及び事業計画について審議されました。

翌日の28日（日）には、ギョギョギョ魚フェスタにおいて、江府町の新鮮な農産物や加工品などの特産品販売を行い、例年よりも販売数量を多くしていたいただいたにもかかわらず、あっという間に売り切れしました。

来年（2019年）は、昭和54年（1979年）に江府町と西ノ島町が「山と海の交流」として姉妹町の盟約を結んでから、40周年を迎えます。

40周年に向けて、今後は「互いに海にないもの、山にないものを補い合う」という姉妹町交流開始の趣旨を再度見つめ直し、お互いの町で普段なかなかできない体験を通じて町の産業・経済・文化に触れ、相互理解を深め、今後の交流の更なる繁栄を図ることを目的とした事業を検討してまいります。



▲ 30周年記念事業
江府町での田植え

10/28

わくわくどきどき心地よく〜出逢いに感謝〜

西ノ島町人権・同和教育講演会を開催しました！

10月28日（日）、西ノ島町「コミュニティ図書館にて、出雲市より岩崎 巖氏をお招きし、「わくわくどきどき心地よく〜出逢いに感謝〜」と題し、講演会を開催し、約30名の方が参加されました。

岩崎氏は、一流のアスリート・指導者であったにもかかわらず、60歳を前に視力の衰えが進み、61歳のときには視覚障がい者の認定を受けました。しかし、失意のどん底にありながら、ハーマン力と出会い、第2の人生を歩み始められました。こうしたご自身の経験を基に、前向きに強く生きることの大切さや出会いに感謝することの大切さをお話されました。

来場された方々は、岩崎氏の前向きに生きる姿とハーマン力の美しい音色に感動された様子で、会場後にされました。



11/10

火災のない安全なまちづくり

秋の全国火災予防運動

11月9日（金）から15日（木）までの7日間「秋の全国火災予防運動」が実施されました。

これに伴い、11月10日（土）に西ノ島町消防団と隠岐島消防署島前分署が合同で全町防火パレードを行いました。

消防ポンプ車など12台の車両が各地区を回り、保育園児に風船を配るなど、町民の皆さまに防火意識の高揚を呼び掛けました。

これからの季節は空気が乾燥し、ちょっとした気の緩みから火災が発生する恐れがあります。火の元には常に細心の注意を払い、火災のない安全なまちづくりにご協力をお願いします。

